

# 伊豆歴史文化大学

— 特異な自然が育んだ唯一無二の歴史と文化 —



三島由紀夫の小説「獣の戯れ」に登場する黄金崎（西伊豆町）

伊豆半島とその周辺は、さまざまな自然災害が頻発する一方で、自然現象がもたらした地形・景観・産物が、そこに暮らす人々に大きな恵みを与えてきました。

本講座は、伊豆半島の自然の恵みと災害の歴史を振り返るとともに、それらが地域の社会基盤や文化形成に与えた影響を最新の研究成果にもとづいて学びながら、伊豆独自の自然・歴史・文化の価値の再認識を試みます。

令和7年  
6月30日・7月28日・8月25日  
9月22日・10月20日  
全5回 いずれも月曜日

**時間** 18:00-20:00 (開場17:45)

**対象者** ジオガイド、観光関係者  
学生などどなたでも参加可能

**参加費** 無料

**定員** 対面20名、オンラインあり  
要事前申込

**会場** 静岡大学東部サテライト  
(伊豆市青羽根65-1) 駐車場あり

**申し込み  
お問合せ**  
対面申し込み期間 5/7(水)~5/23(金)  
※オンラインは各回開催3日前までOK  
対面は定員に達し次第締め切り  
QRコードよりお申し込みいただくか  
静岡大学東部サテライト  
shizudaifuture@gmail.com  
0558-79-3500  
(平日10:00-16:00)  
までご連絡ください。



## テーマ・講師

※興味があるテーマの回のみ参加も可能です。

### 第1回 (6/30) 伊豆の古城

小山真人 (静岡大学防災総合センター)  
精密航空レーザー測量でみた伊豆半島の古城  
望月保宏 (静岡古城研究会) 伊豆半島の古城概論  
金子浩之 (立正大学文学部) 伊豆半島の古城の発掘成果

### 第2回 (7/28) 伊豆の大地と文学

小山真人 伊豆文学を育んだ大地のなりたち  
金子浩之 伊豆半島の古代~近世の文学  
松本由奈 (伊豆市教育委員会) 伊豆半島の近現代の文学

### 第3回 (8/25) 伊豆の大地とアート

小山真人 アートの場としての伊豆の大地  
松本由奈 現代美術と伊豆半島のクリフエッジプロジェクト  
清水玲 (クリフエッジプロジェクト参加アーティスト)  
伊豆の大地の営みをアートに

### 第4回 (9/22) 伊豆の歴史災害と文化・信仰 (1) 伊豆の洪水災害

小山真人 精密航空レーザー測量でみた狩野川水系の地形と災害  
金子浩之 伊豆半島の水害史

### 第5回 (10/20) 伊豆の歴史災害と文化・信仰 (2) 災害と民話

小山真人 噴火で消えた幻の湖と「赤牛」伝説  
金子浩之 伊豆半島の民話・伝説と過去の災害



洪水被害の軽減をめざす狩野川放水路の取水口 (伊豆の国市)



## 全回講師・世話人 小山真人（こやま・まさと）

静岡大学名誉教授、同大学防災総合センター客員教授。伊豆東部火山群防災協議会委員、美しい伊豆創造センター・ジオパーク委員会顧問なども務め、伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの認定に貢献した。地質学・火山学・歴史地震学などを専門とし、伊豆半島とその周辺の大地の成り立ちを45年にわたって研究してきた。主な著作：「伊豆の大地の物語」静岡新聞社、「ドローンで迫る伊豆半島の衝突」岩波書店など。NHKプラタモリ「富士山」「三保松原」「浜松」「伊東」案内人。



## 第1・2・4・5回講師 金子浩之（かねこ・ひろゆき）

立正大学文学部非常勤講師、元伊東市教育委員会学芸員。考古学を専門とし、古代から近現代にわたる伊豆半島の歴史にも精通する。20年以上にわたって伊東市史の編集担当を務めた。伊東市のほか南伊豆町など伊豆半島内の主要遺跡の発掘にも携わる。明応年間に相模トラフのプレート境界巨大地震があったとする「明応関東地震説」を提唱して注目を浴びている。主な著作：「戦国騒乱と巨大津波」雄山閣、「江戸築城と伊豆石」吉川弘文館など。NHKプラタモリ「伊東」案内人。



## 第1回講師 望月保宏（もちづき・やすひろ）

静岡古城研究会会長、放送大学静岡学習センター主幹、三島市教育委員、伊豆の国市文化財保護審議委員。静岡県公立高校教員として長く勤務し、在職中県教育委員会文化課等に出向、諏訪原城跡（島田市）・韮山城跡（伊豆の国市）の発掘調査などを担当する。勤務の傍ら、静岡県内の中世城館跡を中心とする史跡の調査・研究に携わる。主な著作：「早雲・北条五代と伊豆」長倉書店、「静岡県の歩ける城70選」静岡新聞社（分担執筆）、「東海の名城を歩く 静岡編」吉川弘文館（分担執筆）など。



## 第3回講師 清水 玲（しみず・りょう）

美術家、神奈川県在住。文字の成り立ち、あるいは日常に溶け込み人の無意識に働きかける文字の持つ呪術的要素に関心を持ち、文字や建築、声、映像、収集物、温熱環境の変化等、多様な表現形態を組み合わせながら、日常経験や物事のつながりの再認識の可能性を示唆する作品を制作する。2020年より伊豆半島や四国を中心とした地形の成り立ちや動植物の観察、信仰のかたちの変遷を探る踏査、撮影を継続的に行なっている。伊豆の大地とそこに生じた災害をテーマとしたアートイベント「クリフエッジプロジェクト」にも作品を寄せている。



## 司会・進行ならびに第2・3回講師 松本由奈（まつもと・ゆな）

伊豆半島ジオパーク推進協議会事務局、池田20世紀美術館学芸員などを経て、現在は伊豆市教育委員会学芸員。主に伊豆市内の近世～近代文学・美術を中心に調査を続けている。主な担当展覧会に「久野和洋の世界展」（2021年、池田20世紀美術館）「伊豆市 国学が蒔いた種～新収蔵資料を中心に～」(2023年、伊豆市資料館)「井上靖と郷里の人々の絆～故里美し～」(2025年、伊豆市資料館)など。



クリフエッジプロジェクト「躍動する山河」のテーマとなった伊豆市の上白岩遺跡